



医療福祉・在宅看取りの 地域創造会議 通信 第68号

(H31/4/26)



平素は、「医療福祉・在宅看取りの地域創造会議」へのご理解・ご協力ありがとうございます。

新年度が始まって一か月近くが経ちました。前半は4月とは思えないほど寒い日が続きましたが、ようやく心地よい陽気になってきましたね。目前に迫った10連休も天候に恵まれると良いなと思います。

連休中には各地で春祭りが催されるようです。神輿の担ぎ手を集めるのに苦労されるところもあると聞きますが、皆さんの地域はいかがでしょう。日頃は忙しくてなかなか地域の行事に参加できない・・・という方も、この機会にご近所さんとの交流を深めてみるのも楽しいのではないのでしょうか。

第73回ワーキンググループ会議(4/18)

滋賀県庁 北新館5A会議室

今回の参加者は26名でした。

(医師、看護師、薬剤師、保健師、栄養士、鍼灸・マッサージ師、介護福祉士、社会福祉士、行政書士、企業、行政)

今年度のワーキンググループ会議は「自立排泄支援」を柱に、その他のテーマも織りまぜながら開催する予定です。

まずは自立排泄の第1回目。わかりやすく楽しい北川さんのお話を聞いて、様々な思いや体験談が飛び交いました。



現場では、歩けないためにトイレに行けない人が多い。また、本人は歩いて行きたいが、介護者側が転倒のリスクを気にするあまり行かせないという事例もある。本人と介護者、どちらの意志を大切にすべきか・・・

パット代が負担。
重くてゴミ出しも大変

尿失禁があったら、何が原因なのかを泌尿器科を受診して見極め、コントロールすることが大事

おむつを使うのは抵抗がある。パットの方が受け入れやすいという人も多い

入院中、自分でトイレに行けるのにおむつやカテーテルをしている事例がある。
アセスメントをしっかりとすべき!

パットは使っているが適切に使えていない人も多い。正しく使えらると、より快適な生活になるのでは・・・

小便と大便是「小さな便り」と「大きな便り」。

毎日見ておくことが大事。
骨盤底筋体操は3日やれば筋肉がつく。毎日行うことが大切

訪問看護ステーションでももっと取り組めるかもしれないが、週1回の訪問でどこまでできるのか。排尿障害の原因が何かを考えると訪問看護ステーションだけでは難しいので、関わっていく人たちがもっと排泄の自立に向けて考えていかないといけない

- ・トイレにはお金をかけましょう!
- ・恥ずかしがらずに泌尿器科に行きましょう!
- ・おむつは適切なものを使いましょう!



告知

☆総会・研修会 8月25日(日) 13:30~17:00

ピアザ淡海 大会議室

「最後まで目一杯生きる」緩和ケア 萬田診療所 萬田緑平先生

☆県民フォーラム 11月16日(土) 13:30~16:30

東近江市能登川コミュニティセンター

オープニング: MAE G BAND

記念講演 : 春 やすこ さん

次回ワーキングは・・・

5月23日(木)

18:30~

於:ひこね燦パレス

「排泄支援事例の意見交換」

ご意見・ご感想等お寄せ下さい!

医療福祉・在宅看取りの地域創造会議運営事務局

(滋賀県庁 医療福祉推進課内) 金岡・西浦

TEL077-528-3581 FAX077-528-4851

E-mail: info@chiikisouzoukaigi-shiga.jp

